

事業所名

おもちゃ箱いこま（放課後等デイサービス）

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

12日

法人（事業所）理念		誰もが幸福になる権利があり、私たちは支援が必要な多くの方に豊かに幸福になれるサービスを提供することを目指します。						
支援方針		一人一人の苦手な所や不器用な所を見つけ、それぞれに合ったプログラムを考えていきます。事業所内で取り組み、克服できたことを家庭や学校でも活かしていけるように、保護者や教育機関との連携を大切にしていきます。家庭、学校以外の安心できる居場所となれるようにしていきます。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	1日の取り組みの見立てを付けやすいように、タイマーや絵や文字のカードを用います。忘れ物をしない工夫を家庭と連携して行います。清潔な身なりを心がけられるように一緒に鏡の前に立ち話し合います。苦手な食べ物を一口ずつ食べられるように促しています。						
	運動・感覚	集中力を持続するための体力づくりとして、中距離走や鬼ごっこをプログラムの中に入れます。学習、食事の時に座る姿勢など、着座することができるように支援します。柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹を鍛えるための運動を取り入れます。						
	認知・行動	こだわりに対して柔軟になれるように支援していきます。時間を決めてプログラムを立てることで、時間を意識できるようにしていきます。季節毎にみんなで歌詞を見ながら合唱し、視覚や聴覚を活用させます。						
	言語 コミュニケーション	場面に合った表情や言葉を選択できるように、動作模倣、口形模倣、音声模倣に取り組みます。言葉が出にくい子にはPECSカードを用いてコミュニケーションの手段として活用します。痙攣を起こした時にABAを用いて対応します。						
	人間関係 社会性	ルールがある遊びやゲームをプログラムに入れ、失敗や負けを受け入れたり、友達と協力したり、励ます力を身に付けます。問題行動を起こした時に振り返りながらノートに記入していきます。スタッフとの1対1で対話する時間を作ります。						
家族支援		月に数回活動報告を行います。困りごとなどあれば一緒に考えます。			移行支援		学校と連携をはかるために、必要に応じて訪問し、支援内容等の具体的なかわり方について情報共有をします。	
地域支援・地域連携		家庭に対して最適な支援が行えるように、必要に応じて関係機関と連携をはかります。			職員の質の向上		月に一度のスタッフミーティングを行い、スタッフが一貫した療育を行えるようにしていきます。感染対策委員会や虐待防止委員会の研修を年に数回行います。	
主な行事等		クリスマス会、大掃除、ショッピング、おもちゃ箱銀行、課外活動、クッキング、避難訓練、水遊び						